

実りの感謝を神輿に託す

水神社の秋祭り

椿海地区を代表する行事、水神社の秋祭りが10月18～19日に行われ、地区民総出で五穀豊穡を祝いました。

祭り最大の見せ場である御神体遷御は19日の午後から行われ、お仮屋を出発した神輿は白装束の若衆に威勢よく担がれ、軽快な囃子の音色に乗って、天狗や侍姿の子どもたちと長い行列を作って神社へ向かいました。

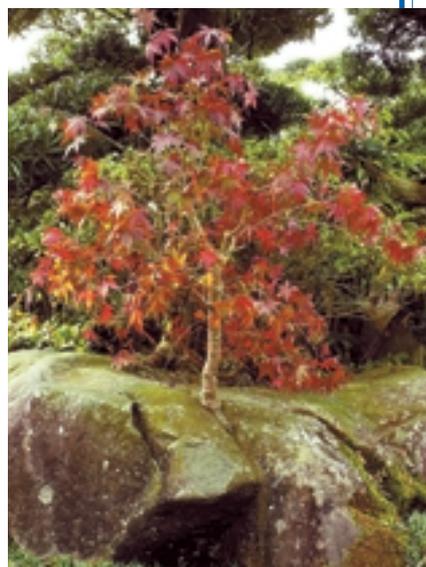


御神体遷御の行列が神社へ向かう

鮮やかに紅葉

石割もみじ

豊和地区大寺の宇井貞夫さん宅の庭に、いつしか、もみじの種が風に吹かれ飛んできて、5年ほど前から庭石の小さなくぼみに自生し、今では80cmほどに成長して鮮やかに紅葉しています。石の上に根を下ろしたこのもみじは、成長し生きていくため、40cmほどもある分厚い石を砕き割り、地中へと根を伸ばしています。なんともすさまじいパワー、自然の生命力に家族や周りの人たちも驚いています。



岩をも砕くすさまじい生命力

栄小学校の器楽合奏



日ごろの練習の成果を發揮

小中学校音楽発表会

八日市場ドームで11月7日、市内の全小中学校15校が参加して音楽発表会が開催されました。各学校の児童・生徒たちは、この日のために練習を積んできた器楽合奏や混声合唱などをステージ上で披露し、観客席の他校の児童・生徒や保護者から盛大な拍手が送られました。

来場者2万5千人

第3回そうさ農業まつり



大きな盛り上がりを見せた紅白もち投げ

第3回そうさ農業まつりが11月9日、市役所南側駐車場をメイン会場にして開催され、約2万5千人の来場者でにぎわいました。ステージ広場では、丸太切り競争や植木のオークション。続いて、迫力満点のさか太鼓や陸上自衛隊のブラスバンド演奏が行われました。午後からは、待ちに待った特賞30本のあたる紅白もち投げがステージと3台の車から行われると、埋め尽くされた人で大盛況となりました。



正拳突きと回し蹴りの攻防(幼年組手)

押忍！120人が熱戦

第17回全日本武道空手道交流大会

第17回全日本武道空手道交流大会(全日本武道空手道連盟総本部・拳真塾主催)が10月26日、のさかアリーナで開催されました。当日は、県内をはじめ、関東地域から心身ともに厳しい鍛錬を積んだ幼児から社会人までの120人の選手が出演。組手や型の13部門で、息詰まる熱戦が繰り広げられ、観客席から熱い声援が送られていました。

農業者育成を目指して

はじめよう！農業

「農作業を通じて健康の増進や、生きがいを見つけ、野菜ができる喜びを体験しよう」をテーマに、農業を実体験できる「はじめよう！農業」が11月2日、市内平和地区の畑で行われ、市内外から17人が参加しました。

穏やかな秋の一日、参加者たちはコマツナやホウレンソウ、キヌサヤなどの種まき、畑の畝立てなどに心地よい汗を流しました。参加者からは「農業を退職後の収入源の1つにしたい」などの声が聞かれました。



ホウレンソウの種まきを体験する参加者たち

秋を彩る匠瑳の芸能

文化祭芸能発表会



優雅な舞にうっとり

アリーナに響くきれいな歌声

11月1日から3日の間、八日市場文化祭・のさか文化祭芸能発表会が、それぞれ市民ふれあいセンターとのさかアリーナで開催されました。歌謡や舞踊を始めとした多種多様な演目が組まれ、観客を楽しませました。

目指せホールインワン！

グラウンドゴルフ交流大会

豊和コミュニティセンターで11月14日、豊和老人クラブの皆さんと豊和小5・6年生の児童が参加して、グラウンドゴルフ交流大会が開催されました。これは、地域振興協議会の活動の一環として、10年ほど前から行われている事業です。児童たちは、慣れないゴルフクラブに戸惑いながらも、アドバイスを受けながら楽しい1日を過ごしました。



グラウンドゴルフって楽しいね！

びっくり、なんと17キロ！

巨大冬瓜

須賀地区高の増田金成さんの畑で、巨大冬瓜とうがんが収穫されました。夏の暑い時期に20個ほどの実をつけた冬瓜は、徐々に成長。今年はどうしたことが、その中の1個だけがぐんぐん大きくなり、重さ17kg、太さ96.5cmの超重量級の冬瓜になりました。普通の冬瓜の4倍もの大きさになった巨大冬瓜に増田さん夫妻も驚いています。



普通の冬瓜(左)の4倍もの巨大冬瓜(右)

和やかな雰囲気の中で行われた収録



おじゃまします！市町村街かどクイズ

本市の自慢を全県にPR

千葉テレビ「おじゃまします！市町村街かどクイズ」の収録が11月2日、ふれあいパーク八日市場で行われました。

司会役の轟二郎さんとアシスタントの金杉陽子さんが登場し、会場を訪れた人たちに「日本最古の大学の名前は？」「八重垣神社祇園祭の神輿にかけるものは何？」など本市を代表する名所・イベントについてクイズを出題しました。答えた人たちは大半が市外の人でしたが、答えを知ると興味深そうにうなずき、「日本最古の大学である飯高檀林を訪ねてみます」などと話していました。